



日本被団協 ノーベル平和賞受賞

日本は核兵器禁止条約に参加を！

12月議会



「核兵器をなくそう！」と東京から広島をめざして歩く平和行進の通し行進者の大村さん(2024年6月10日江南市役所前で撮影)。掲げている折り鶴1万羽は、江南市民から託されたもの。

核兵器禁止条約は、核兵器を全面的に違法化した国際法です。被爆者の粘り強い運動が実を結んだものです。人類が核兵器で滅亡することのないよう、核廃絶をめざす大きなうねりを作り出してきました。

しかし戦火がつづくウクライナやガザでは、核保有国が核の脅しを繰り返り、核戦争の危機が現実味を帯びてきました。

唯一の戦争被爆国の日本は、核廃絶の先頭に立つことを期待されながら、核保有国と同じ立場で核兵器禁止条約に参加せず、オブザーバー参加さえ拒み、世界の国々を失望させています。

被爆者の悲願に背を向けた 議会と市長

●市議会が、被爆者からの請願を不採択に

12月議会に、「ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願い、日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出を求める請願書」が愛知県原水爆被災者の会(愛友会)から提出され、日本共産党議員団が紹介議員になりました。しかし、市議会はこの請願を賛成3、反対16で不採択としてしまいました。

不採択の議員は「日本は核の傘の下にあり、核保有国との橋渡しをするためにも核兵器禁止条約に参加すべきでない」などと主張しました。

●市長は、国の方針に従い署名を見送る

一方、日本共産党議員団は澤田市長に一般質問で「日本政府が核兵器禁止条約へ調印・批准することを求める署名」に協力してほしいと迫りましたが、市長は「国の方針に従い署名は見送る」と答弁。議会も市長も、ノーベル平和賞に輝いた被爆者の悲願に背を向けました。

フラワーパークまで名鉄バスが土日祝日限定で延び いこまいCARと福祉タクシーの並行登録が可能に

2025年4月から、公共交通が少し便利になります。

①フラワーパーク江南に名鉄のバス停が設置され、名鉄バス江南・病院線を土日祝日限定で、すいとびあ江南からフラワーパークまで延伸。代わりに同路線の土日祝日ダイヤが毎時2本から1本に減便されます。

②いこまいCARと福祉タクシーチケットの並行登録が可能になります。ただし料金の支払い時に、同時に両方の制度を使うことはできません。



日本共産党江南市議員団
かけのまち子 53-7727
みわ 陽子 54-6712

あすの江南

発行：日本共産党江南市委員会
2025年1月 市議団HP→
No.565



みなさんと一緒に

新しい政治へ

総選挙で自民・公明が過半数割れとなり、たたかい次第でみなさんの願いが実現できる新しい情勢となりました。この状況を切り開いたのは「しんぶん赤旗」の自民党裏金・2000万円スクープと共産党の論戦です。みなさんといっしょに新しい政治をつくっていくためにがんばります。

企業・団体献金
全面禁止

中小企業支援し
最賃1500円

消費税を
ただちに5%に

軍拡増税ストップ
平和外交へ転換



日本共産党参院愛知選挙区

すやま初美

学費無償めざし
すぐ半額に

選択的夫婦別姓
の早期実現

紙の保険証の
廃止を凍結・中止

インボイス廃止

ジェンダー平等
社会への扉を
こじ開けます!



愛知の声を
国政に届けます!

比例は「日本共産党」
と政党名で

参議院選挙制度解説(記載例)



参議院議員

井上
さとし